

今、何の病気が流行しているか！

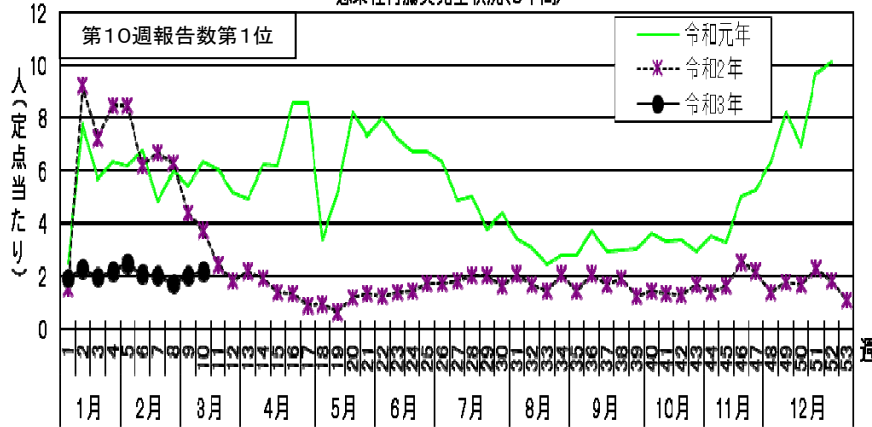
【感染症発生動向調査事業から】

令和3年3月8日（月）～令和3年3月14日（日）〔令和3年第10週〕の感染症発生状況

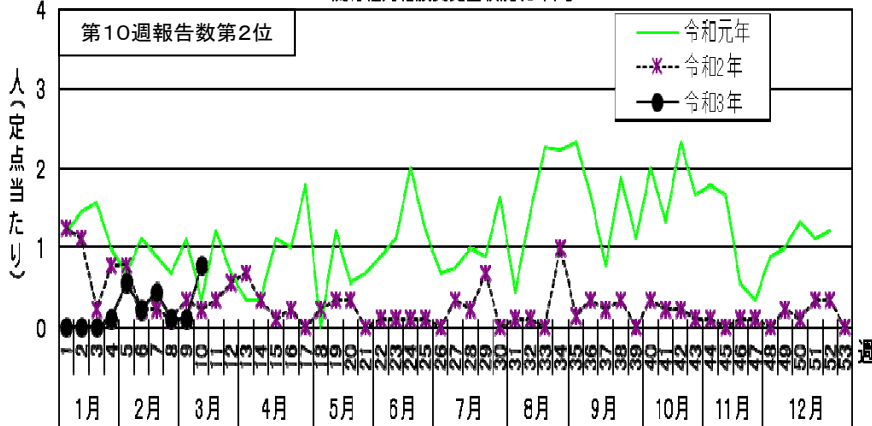
第10週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.17人と前週（2.03人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.78人と前週（0.11人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.61人と前週（0.56人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



流行性角結膜炎発生状況(3年間)



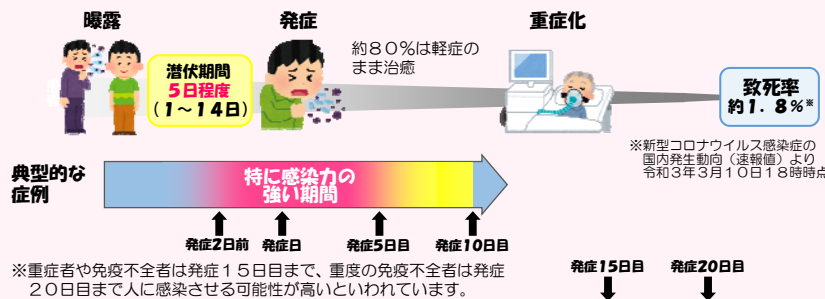
新型コロナウイルス感染症患者からの感染可能期間について

新型コロナウイルス感染症に感染した方からの感染可能期間は、一般的に発症2日前から発症後10日間程度（特に発症2日前から発症5日目までの感染力が強い。）です。症状消失後も長期間にわたりPCR検査等で陽性になる方や、再度症状がみられる方もいますが、軽症及び中等症の方は、発症10日目以降であれば、周囲への感染リスクは低いことがわかっています。

一方、人工呼吸器などによる治療を必要とする重症の方や免疫不全者は、発症10日目以降も、しばらくは人に感染させる可能性があります。

一旦回復した後に、再び発熱や咳などの症状がみられた際は、別の疾患や後遺症の可能性もありますので、主治医に相談しましょう。

新型コロナウイルス感染症の感染可能期間



国内における新型コロナウイルス感染症の後遺症について

- 発症から60日経過後**
- ・嗅覚障害（19.4%）
 - ・呼吸困難（17.5%）
 - ・倦怠感（15.9%）
 - ・咳嗽（7.9%）
- 発症から120日経過後**
- ・呼吸困難（11.1%）
 - ・嗅覚障害（9.7%）
 - ・倦怠感（9.5%）
 - ・咳嗽（6.3%）

電話調査（回復者63人）より
 「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第4.2版」から抜粋